

## 令和4年度ナッジワークショップ講師派遣に係る委託業務仕様書

### 1 業務の目的

ふくしまゼロカーボン宣言事業（旧：福島議定書事業）に参加する学校で、行動経済学の知見を用いて行動を望ましい方向に導く「ナッジ理論」に係るワークショップを開催し、学校での省エネ・省資源の取組をより推進させる。

### 2 契約期間

委託契約締結日から令和5年3月10日（金）まで

### 3 業務内容等

委託業務の内容は次のとおりとする。

#### （1）対象

福島県内の小学校及び中学校併せて8校とする。なお、小学校は4学年以上を対象とし、ワークショップの時間は1校あたり2時限（授業の単位で2つ）、ワークショップに参加する生徒は1校あたり約40名とする。

#### （2）ワークショップの開催

（1）の学校に講師を派遣し、次の内容を盛り込んだワークショップを開催すること。なお、ワークショップの内容は、事前に県の承認を受けること。

また、ワークショップに必要な器具及び材料は事業者が用意すること。

- ・ 「ナッジ理論」による省エネ・省資源を促進する手法について生徒に説明し、当該手法を用いて、実際に意識付けさせる対象（不使用照明の消灯、ごみの分別等）を考える機会を設ける。
- ・ 「ナッジ理論」を活用した物品（シールやポスター等）を生徒に創作させ、実際に学校内に設置する。

#### （3）意識調査

ワークショップ実施前と後にアンケート調査を行い、生徒の意識変化の調査・分析を行うこと。

#### （4）資料等の作成業務

ワークショップに必要な資料を作成し、配布・説明すること。

#### （5）学校向け報告資料作成業務

ワークショップ記録やアンケート結果等を取りまとめた、学校向けの報告資料を作成・送付すること。

#### （6）対外交渉

事業者は、この契約に基づく事業の進行に際し、官公署・各種団体・出演者・その他第三者に対して説明あるいは交渉を要する場合または説明を求められた場合には、速やかに県に連絡し、その取扱いについて、県の指示を受けるものとする。

#### 4 提出書類

次のとおりとし、それぞれ1部を県に提出するものとする。

(1) 委託業務着手届（第1号様式）

委託業務着手後、7日以内に提出すること。

(2) 委託業務完了届（第2号様式）

委託業務完了後、遅滞なく提出すること。

(3) 事業実績報告書（第3号様式）

委託業務完了届とともに提出すること。なお、実施した業務の詳細が分かる資料と3（3）の調査結果を添付すること。

(4) 提出方法

紙媒体で各1部提出すること。また、関係する電子データを光ディスクで納品すること。なお、電子データは、PDF形式のものに加えて、WORD、EXCEL、POWERPOINT、ILLUSTRATOR形式等の編集可能なものも含めること。

#### 5 著作権等の扱い

(1) 本業務において作成された成果物に関する著作権、著作隣接権、商標権、商品化権、意匠権及び所有権（以下「著作権等」という。）は、発注者及び受託者の共同保有とし、著作権等の行使の際には事前に協議を行うこととする。

(2) 成果物に含まれる受託者または第三者が権利を有する著作物等（以下「既存著作物」という。）の著作権等は、個々の著作権者等に帰属するものとする。

(3) 納入される成果物等、業務に係る著作物等に既存著作物が含まれる場合は、受託者が当該既存著作物の仕様に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続きを行うものとする。

#### 6 その他

(1) 各業務の役割分担は別紙「業務分担表」のとおり。

(2) 本仕様書で数量が不明瞭な項目については、別紙「業務委託設計書」に基づくこと。

(2) 本業務の実施に必要となる経費（機材費、材料費、旅費・謝金、資料作成費、郵送料、印刷費等）は契約金額に含まれるものとし、発注者は契約金額以外の費用を負担しない。

(3) 必要な資料及び情報の収集等は業務に含まれる。

(4) 本業務に係る記録については、県ウェブサイトや報告書等で外部公表する可能性があるため、関係者から事前に了承を得ること。

(5) 本業務の実施に当たり、知り得た内容を第三者に漏らしてはならない。

(6) 本仕様書に定めのない事項や疑義が生じた時は、双方協議の上、決定するものとする。ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と考えられるものについては、本業務に含まれるものとする。